

9330

軍務局機密第三七二號

| | | | |
|---|---|---|---|
| 永 | 永 | 永 | 永 |
| 永 | 永 | 永 | 永 |
| 永 | 永 | 永 | 永 |
| 永 | 永 | 永 | 永 |

軍務局機密 第一課長 第二課長 局員

昭和五年九月廿六日發付濟

軍務局

船政本部宛

軍艦駒橋、修理並設備開え件照會

軍艦駒橋、昭和六年四月以降在役測量艦、修繕並設備開え件照會

セケラル、予定ナルニ付テハ首題、件左記ニ依リ一の然即取

計ヲ得度

上記

一整備標準

目下、処々分測量艦、仕務ニ服セケラル、予定ナルニ差支あり

海軍

模造半葉十三行罫紙 (富井納)

今後採用をトセバ
击控器必要
也

残り
八種高角砲一
トナル
軍令部立務者
了解

0337

本年度、役務ニ差支ナキ程度ニ船体兵器隊用ヲ整備
スルヲ標準トシ、爾后予算、状況ニ依リ之ヲ整備スル
ニ新設改造事項

(一) 測量用具、新設

(1) 「シグスビー」測深儀ニ台(電圧一〇・V)

右、現在滿州裝備、水路部備品ヲ以テ充當シ
短艇甲板右部兩舷八種砲ヲ除キノ跡ニ裝備ス
但シ撤去砲ニ就時年變、際要スルハ復旧スルモノトス
艦橋及右測深儀同ニ傳声器ヲ裝備ス

(2) 電氣測深儀ニ台

内一名ハ駒橋現用ノモ、他二名ハ滿州ニ裝備スルヲ派用ス

模造半葉十三行野紙 (富井納)

海軍

(一) 音響測深儀 一台

滿州現用ノモノヲ裝備ス

(二) 製圖兼研究室ノ新設

左舷最後部潜水隊准士官室(二人室)ニ室ヲ隣壁ヲ除キ一室トシ掃老ヲ充テラシメ所安ノ設備ヲナス

(三) 測器類格納庫

潜水隊倉庫ヲ利用スル範圍ニ於テ内部ニ所安ノ設備ヲナス

(四) 艙橋

海圖箱ノ外測量用圖板ヲ置キ作業ヲ容易ナラシム

海軍

模造半葉十三行野紙 (富井納)

(五) 通信装置

現装置を好装置、外南洋方面に行動した場合に願ふ所し
程放送受信器を装置すべし。

此等本件に同く水路部員意見^{別紙}を参考し添付す。

(終)

横造半葉十三行罫紙 (富井納)

海軍

水一機密第八九〇號

昭和五年九月十六日

田結軍務局局員殿

下坊水路部部員



駒橋ノ設備ニ關スル件回答

電話御照會ノ首題ニ關スル意見別紙ノ通但シ右ハ駒橋ヲ茲一兩年ヲ
限リ測量艦トシテ使用スルニ要スル最小限度ノ設備ニ付此ノ點御了
知ノ上可然御取計ヲ得度

(別紙添)

(終)

海軍

38
0340

別紙

一、居住

駒橋ヲ測量艦トシテ使用スル爲之ガ設備ニ關スル意見

(一) 乗員

現在測量艦ノ定員及臨時増置員左ノ如シ

| 艦名 | 定員 | | 臨時増置員 | |
|----|-------|------|-------|------|
| | 准士官以上 | 下士官兵 | 准士官以上 | 下士官兵 |
| 大和 | 一四 | 九六 | 一 | 二八 |
| 淀 | 一六 | 一六六 | 二 | 一八 |
| 膠州 | 一五 | 八七 | 三 | 三二 |
| 滿州 | 二一 | 一六九 | 〇 | 二〇 |

(二) 水路部出張員

駒橋ノ定員ハ准士官以上一〇名下士官兵九六名ナルモ測量艦トシテハ大和ト同様准士官以上約一五名トシ又下士官兵ハ約二八名ノ増置ヲ要スルヲ以テ之ニ對スル居住設備ヲ考慮スルヲ要ス

根據之ハ
増員ハ
駒橋トス
之ハ

0341

海軍

固有之人員

計士以上之人員
下士官兵
充分(ハケ余ル)
下士官兵(ハケ余ル)
充分(ハケ余ル)

八種砲
軍六

士官 二名

技手以下 二名

之ガ居住設備モ共ニ考慮スルヲ要ス

(三) 准士官以上ニ對シテハ現在寢臺數一六アルヲ以テ大體間ニ合フベ

シ若シ不足ノ場合ハ「ダブルベッド」ノ數ヲ増加セバ可ナラン

下士官兵ニ對スル不足分ハ後部艇隊要具庫ヲ充ツレバ可ナランカ

(約三十名分)

ニ測量用具

(一) 「シグスビー」測深儀二臺(電壓一〇〇V)

(1) 右ハ現在滿州ニ裝備ノモノヲ以テ流用ス(但シ水路部備品)

(四) 裝備位置 艦橋下附近兩舷最上甲板又ハ短艇甲板後部兩舷三吋

砲ヲ除キ其ノ位置(但シ三吋砲撤去不可トセバ其ノ附近適當ノ

位置)

(備考、三吋砲ノ砲座ヲ利用セバ甲板補強工事不要ナルベシ)

海軍

長巻ノミナリ
備有但用其他
艇中

0343

○(イ) 艦橋トノ間ニ傳聲管ヲ必要トス

(ニ) 本測深儀ノ裝備ハ水路部負擔トス但シ電線ノ配線、甲板補強工
事及傳聲管ノ裝備等ニ關シテハ適當ニ考慮ノ上緩和セラレニコ
トヲ希望ス

○(二) 電動測深儀三臺

(イ) 内一臺ハ現在駒橋ニ裝備ノモノ他ノ二臺ハ現在滿州ニ裝備ノモ
ノヲ流用ス

(ロ) 裝備位置 一臺ハ現在ノ儘、二臺ハ艦橋下端艇甲板又ハ端艇甲
板中部兩舷適宜ノ位置

(ハ) 「ブーム」ハ餘リ長クスルニ及バズ

(ニ) 各電動測深儀側ニ「ブラツトホーム」(投鉛臺ト同様ノモノ)
ヲ新設スルヲ要ス

○(三) 音響測深儀一臺

(イ) 成ルベク深深度ノ測深ニ適スルモノヲ希望スルモ已ムヲ得ザル

海軍

船中

ノリ

注例

造船基より500mm
重さより(大梁)を要

(12)

0344

左舷品

注方

降陸

持支

後甲板

艇搭載

予期

(13)

場合ハ滿州現存ノモノヲ裝備スルモ可ナリ

(四) 假ニ滿州現有ノモノヲ裝備スルトセバ裝備位置要領左ノ如シ

電動發電機(二〇〇乃至一二〇V)、配電盤、機械室又ハ發電機室

振動板及ハイドロホーン、艦首ニ近キ艦底ニ水平距離約二六呎

以上ヲ隔テ裝備

フアゾメーターユニット、フィルター、バッテリーボックス、海圖室

(大體ノ大サ全部ニテ横二呎奥行一呎高サ六呎)

(ハ) 本測深儀ハ駒橋ヲ昭和六年度ノミ測量艦トセララル場合ニハ必ズ

シモ裝備スルニ及バズ

三、製圖兼研究室

製圖並海洋觀測ノ結果ヲ處理スルタメ成ルベク振動少キ位置ニ約

米(多少ノ差ハ差支ナシ)ノ室ヲ新設シ且内部ニ所要ノ机腰掛類ヲ

設備スルヲ要ス

右ハ後甲板中央附近ニ設クルヲ可トスベシ

海軍

船務要目

Disp. 幸澤 1,231 港務 1,690

長 ^{全長} (重厚同) $\frac{228'0}{210'0}$

最大巾 $35'0\frac{1}{2}$ 吃水 ^{幸澤} 前 $10'7\frac{1}{2}$ 后 $12'8\frac{1}{2}$

銃艇 吃艇 $\times 1$ 四六艇 $\times 1$ カッター $\times 1$ 通艇 $\times 2$

定員

潜水艇乗員收音力 { 夜久 船中 日
北七夜以上 17. 10

対潜波信力 { 下七夜兵 140.

魚雷 $\times 19$ 拾捌以.

武装 砲 10-44cal 8cm $\times 2$ 彈藥箱 100.
高角砲 8cm $\times 1$ " 200.

探照灯 75cm $\times 1$.

缶 月缶 $\times 2$

飲料水 78e

機油 $8\frac{1}{2} \times 2160$
 $10\frac{1}{2} \times 2410$

0346

海軍

駒橋八月現状報告抜粋

一 清下中及将来必要下認め修理事項完成迄役務ニ差支アリ
尚残圍水久保存法復旧入渠自差修正軍需品搭載試
運転ノ為三千五百ヲ要ス

二 本渠 三十一六一五

三 船体

(現状)

(一) 右岸岸及岳玄及残圍玄外飯屋日船^船縦道林取付飯好三百

五千本高儲止打控ヲ要スモナリ

(二) 中部甲板堵室得陸及右部玄竹ヤ係^係停^停止^止下係^係高^高儲^儲止

修理ヲ要スモナリ

(三) 其他之設備 但し高貯高貯多小修理ヲ要スモナリ

海軍

(二) 神機 迄、但、其、保、証、施、行、す

六、出

各、岳、其、所、在、者、同、乾、燥、保、護、性、施、行、中、一、二、年、其、好、向、更、形、多、押、上、神、居、之、年、ヲ、施、多、最、近、計、測、之、一、年、岳、之、礼、ヲ、著、之、各、担、玄、火、始、直、ヲ、都、"、水、記、之、膨、出、其、記、之、目、下、其、考、面、=、高、下、一、回、平、棟、瓦、壁、ヲ、築、造、シ、防、漏、勢、急、ト、シ、之、許、上、使、用、力、一、二、回、所、=、低、限、力、量、8/10、制、限、シ、

(持、来、ハ、事、前、記、ス)

兩、岳、其、好、向、更、形、之、今、後、一、更、記、増、進、シ、控、表、一、年、

了、シ、

七、現、世、礼、ヲ、著、押、之、心、最、大、進、力、一、〇、八、一、四、回、六、回、力、

(左、右)

機、造、半、葉、十、三、行、罪、紙、(石、黒、約)

海 軍

本紙を参考として水路部へ送付す

海

軍

39

0350

軍務局長

第二課長

局長

四

横道半葉十三行罫紙 (富井納)

昭和五年十月五日 拾月四日

發付済

軍務局

船政本部宛

軍艦駒橋の新設事項訂正関係件照会

九月二十六日附軍務一機密第三七二号ヲ以テ駒橋ニ對シテ新設事項訂正
照会致至小沢水路部意見ニ基キ一部左記通訂正改ム

記

新設改造半途中の「シグナル」測深儀ニ各ノ裝備位置ヲ左
通改ム

艦橋下附近両舷最上甲板ニ裝備シ、但シ之ガ爲テ自動測深
儀ノ裝備位置ヲ右トシサル場合ハ、右部両舷八種砲ヲ除クモ

已らうが、此の場合撤去砲は、秋町井裏に降し、要するは復旧に必らず
ナニ風クモトス。

模造半葉十三行露紙 (富井納)

松崎、可勝向々急激、
北ノ岸、可勝向々急激、
北ノ岸、可勝向々急激、

北ノ岸、可勝向々急激、
北ノ岸、可勝向々急激、
北ノ岸、可勝向々急激、

北ノ岸、可勝向々急激、
北ノ岸、可勝向々急激、
北ノ岸、可勝向々急激、

北ノ岸、可勝向々急激、
北ノ岸、可勝向々急激、
北ノ岸、可勝向々急激、

北ノ岸、可勝向々急激、
北ノ岸、可勝向々急激、
北ノ岸、可勝向々急激、

軍

(一)